

旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
2025年1月12日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	聖 歌 3 1 9 「 牧 主 な る 主 よ 」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖 歌 4 3 3 「 悩 め る 人 々 」	一 同
教会学校	「 君 へ の 特 別 な 贈 物 」	牧 師
讃 美	聖歌642「望みも消えゆくまでに」	一 同
聖書朗読	マタイ1:1-6a	
奨 励	創世記の福音(第32回)	牧 師
主 題	「祝福への系譜」	
讃 美	聖 歌 4 3 2 「 け が れ と 恥 と の 」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖 歌 3 7 8 「 さ か え あ れ や 」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	創世記第 39 章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》

1 / 12(日) 聖日礼拝
/ **13(月) 成人の日**
/ 14(火)
/ 15(水)
/ 16(木) 10:00 聖研
/ 17(金) 10-12:00 BSクラス
/ 18(土) 13-16 子供オプンハウス



《祈りの課題》

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「沈黙は金なり」

ささきみつお(国際弁護士)

「雄弁は銀、沈黙は金」Speech is silver, silence is golden.(トーマス・カーライル)

「知り合い同士のもめ事の仲裁をしたら、当事者の一方から恨まれ、私が攻撃されるようになってしまいました。どうしたらよいでしょうか?」「どうしてあなたが恨まれたのですか?」「はい、私は公平に解決しようとしたのですが、他方の肩を持っていると勘違いされたようです。電話やメールで毎日しつこく謝罪や慰謝料を要求してきます。初めは反論していたのですが、相手は自分の意見を押しつけてきて話し合いになりません。助けてあげたのに逆恨みされ、とんでもないストレスです。」

この種のトラブルの法律相談が多くなってきた。また初期段階では大袈裟にしたい気持ち強い。そういう方には「沈黙して対抗する」ことを勧めている。言い負かそうとすれば相手はますます依怙地になり、泥沼の紛争になりかねない。

「主があなたがたのために戦われるから、あなたがたは黙していなさい」(出エジ14:14)

対抗策

具体的には受信拒否や着信拒否をする。それで解決する場合も多いが、相手が感情的になり別の方法で連絡してくる場合は、拒否しないで相手に言いたい事を言わせ、それに対して返事や返信をしない。留守電は聞かず、メールは読まず、一切を無視して、自分の気持ちが不快になるのを防ぐ。その際、留守電やメールを消去せずに、証拠として保存しておくことが重要である。相手がさらに責めてきても、応答せずに沈黙していると、そのうちに連絡してこなくなる。憎しみや怒りを持続続けることは、相手にとってもストレスだからである。相手の性格によっては病的にしつこく責めてくる場合もある。でも、こちらが沈黙している間に開いては留守電やメールに不利な証拠を残すことになる。その中に刑法の犯罪行為や民法の不法行為を証明できる文言や文章があれば、それらを証拠にして法的措置を執りやすくなる。

こうして、いざという時に備えながら、必要な時に弁護士等に相談すればよい。また前もって最寄りの警察署の生活安全課に相談しておくといよい。自分や家族の身に危険が生じそうな時には、110番すれば警察が即対応してくれる。

加害者のために祈る

沈黙していても、相手を憎んだり、恐れたりしないこと。憎しみや恐怖によって自分の心の平安が失われると、仕事や日常生活に支障をきたしてしまう。すべてを神に委ねて、相手を赦し、相手の祝福を祈るようにする。こうして、沈黙によって相手に立ち向かい、背後で働く悪魔を追い払うことができる。神の子は、いやな問題でも神の訓練としてポジティブにとらえ、いつも喜び、全てを感謝して生きる事ができる。「神に従いなさい。そして、悪魔に立ち向かいなさい。そうすれば、彼はあなた方から逃げ去るであろう」(ヤコブ4:7)。